

問 熊の緊急銃猟実施への対応状況は

答 実施体制は整えてあり対応可能



な 中 屋 よしのぶ 議員
(令和新風会)

問 まちなかの駅前付近まで熊が出没している。緊急銃猟への対応状況はどうか。

佐藤町長 対応マニュアルは整備済みであり、実施体制についても宮古警察署及び町鳥獣被害対策実施隊と調整で対応可能である。

問 国ではガバメントハンターの雇用や育成等に対応する自治体へ予算措置を検討しているが本町の対応はどうか。また担当課の増員や職員の狩猟免許取得等についてはどうか。

町長 効果が期待される施策と捉えているが、キャリアを有した人材確保は難しいことから、当面は実施隊への委託で対応したい。人員配置などについて



海水浴客で賑わうオランダ島
(平成21年山田ビーチフェスティバル)

問 オランダ島は本町の観光資源の象徴であるが、東日本大震災以降、衰退していると感ずる。誘客力向上の取組をすべきではないか。

町長 令和6年2月の低気圧で浮桟橋が被災しており、誘客力向上への取組は復旧の進捗を見ながら研究していきたい。

問 船着場の復旧状況と今後の見込みはどうか。

加藤商工観光課長 相 当の財源が必要で補助事業を検討している。

答 復旧の状況を見ながら研究する

問 オランダ島の誘客力向上の取組を

「ガバメントハンター」とは
狩猟免許と実猟経験を持ち、有害鳥獣の捕獲や駆除を公務として担う自治体職員のこと。

は、今後の状況を踏まえて検討したい。



クルーズ船を歓迎する「愛宕青年会八木節」
船名：セブンシーズ・エクスプローラー
(アメリカ・55254トン・乗客定数809名)

問 宮古港へ寄港するクルーズ船の乗客を本町へ誘致するプログラムを研究・開発すべきではないか。

町長 本町への立ち寄りを促す魅力ある観光体験プログラムを提案していく。

要望 今年度、寄港したクルーズ船16隻の定員合計は15000人にもなる。本町への立ち寄りが増えるよう積極的な取組をお願いする。

答 魅力あるプログラムを提案したい

問 クルーズ船乗客の積極的な誘致を

要望 町民から「仮の棧橋でも良いので、海水浴場を開設してほしい。」等の意見もある。2年間も閉鎖されており、何か方策も検討願いたい。